

塩ビ食品衛生協議会

歴史

昭和40（1965）年頃から、塩ビによる食品用器具・容器包装の製造、使用が広がりました。

昭和42（1967）年6月、原材料から製品に至る幅広い分野の企業は、「塩ビ食品衛生協議会」を設立し、厚生省（当時）と協同し自主規格（ポジティブリスト）と確認証明制度を創設しました（現在180会員）。

協議会は、食品衛生法の観点から、塩化ビニル樹脂、添加剤等に係る製品の安全衛生を確保し、適切な使用の推進と普及を図ることにより、国民衛生に寄与しています。

主な事業

協議会は、自主規格の作成・整備、確認証明書の交付、衛生関連情報の会員への普及などを行っています。

- JHP規格の整備および拡充
- 当該原材料および製品の適正使用の推進
- 内外の食品衛生関連法規の調査・研究
- 食品包装材料および関連材料の衛生に関する調査・研究
- 関係官庁、関連団体との連絡協調
- 海外関連機関との連絡
- 会員相互の情報交換



日本でプラスチックに初めて作成されたポジティブリスト



自主規格適合を示すJHPマーク



確認証明書の様式

塩ビ食品衛生協議会
(Japan Hygienic PVC Association)

〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1 (住友不動産六甲ビル6F)
TEL : 03 (5541) 6901 FAX : 03 (5543) 6902
E-mail : info@jhpa.jp URL : http://www.jhpa.jp

編集後記

PVC Design Award 2015は、「安心・安全・快適」というテーマから防災と安全関連の作品が多くなり、受賞も大賞2作品と優秀賞3作品の上位5作品、および入賞から7作品と計12作品が防災・安全関連でした。これらは、目的が水の安心から、食の安全、子供の安全、建物の安全、水害時の安心を提供するものなど幅広く、12作品中10作品が全て異なる分野のもので、安心や安全について様々な用途に展開できるという塩ビの大きな特徴が示されたアワードとなりました。塩ビ最前線では人工筋肉用途で研究が進んでいるPVCゲルを紹介しています。医療福祉分野など様々な機器への応用が可能になれば新たに安心・安全な用途が広がることになり、開発が待たれる分野であります。(小坂田史雄)

お問い合わせ先

塩化ビニル環境対策協議会 Japan PVC Environmental Affairs Council
〒104-0033 東京都中央区新川1-4-1(住友六甲ビル8F) TEL 03(3297)5601 FAX 03(3297)5783